

言語学

(1) 日本語の「に」受身文と「によって」受身文（動詞の表す行為の主体をそれぞれ「～に」, 「～によって」で表示する受身文）の意味・用法にはどのような違いがあるかを述べなさい。以下の容認性に関する判断を参考にすること。

- 【例文 1】 太郎は花子になぐられた。
【例文 2】 ?太郎は花子によってなぐられた。
【例文 3】 法隆寺は聖徳太子によって建てられた。
【例文 4】 *法隆寺は聖徳太子に建てられた。

(2) 以下に例を挙げる言語においては、動詞は人称と数に応じて異なる人称接尾辞をとるが、次の例に示すように、時制, アスペクト, 態が同じであるにもかかわらず、異なったグループの人称接尾辞が用いられることがある。(1: 一人称, 3: 三人称, SG: 単数, PL: 複数)

【活用 1】

la:t- ok	{見る-1SG}	「私は見る。」
la:t- ok ej madar-at	{見る-1SG ある 鳥-を}	「私はある鳥を見る。」
ki-t la:t- nak	{誰-を 見る-3PL}	「彼らは誰を見るのか？」
olvaf- ok koenv-et	{読む-1SG 本-を}	「私は本を読む。」
ej la:n-t va:r- unk	{ある 女の子-を 待つ-1PL}	「我々はある女の子を待つ。」

【活用 2】

la:t- om az-t	{見る-1SG それ-を}	「私はそれを見る。」
la:t- om a madar-at	{見る-1SG その 鳥-を}	「私はその鳥を見る。」
la:t- ja:k ejma:f-t	{見る-3PL お互い-を}	「彼らはお互いを見る。」
olvaf- om verf-e:t	{読む-1SG 詩彼の-を}	「私は彼の詩を読む。」
ja:nof-t va:r- juk	{<人名>-を 待つ-1PL}	「我々はヤーノシュを待つ。」

(a) どのような条件で【活用 1】と【活用 2】が使い分けられているかを考察せよ。その際、他の言語において関連があると思われる現象があれば、引き合いに出して論じてよい。

(b) 次の二つの文は、【活用 1】と【活用 2】を用いる以外は同一で、「彼は私の二冊の本を借りた」を意味する。【活用 1】と【活用 2】を使うことで、それぞれの文の前提にどのような違いがあるかを考察せよ。

【文 1】 ke:t koenv-em-et koeltsoenke:r-t
{二つの 本私の-を 借りる-過去-3SG} 【活用 1】 ※三人称単数形はゼロ接辞による

【文 2】 ke:t koenv-em-et koeltsoenke:r-t-e
{二つの 本私の-を 借りる-過去-3SG} 【活用 2】

【次ページに続く】

(3) 以下の5つの音声記号(1993年以降用いられている国際音声字母 IPA による)が表す音における、声帯の振動の有無、調音点、調音様式、口蓋帆の位置、気流発動機構について、それぞれ簡潔に説明しなさい。

(例: [c] 声帯の振動なし, 硬口蓋, 閉鎖音, 口蓋帆は上がっている, 肺臓気流機構。)

- | | | | |
|-----|-----|-----|------|
| (a) | [ŋ] | (d) | [ʃ] |
| (b) | [ʒ] | (e) | [kʰ] |
| (c) | [ϕ] | | |

(4) 以下の交替形を見て、下の問いに答えなさい。

Set I.	1. <i>t^het</i>	‘insert’	<i>t^het-cin</i>	‘insert in’
	2. <i>sit</i>	‘sweep’	<i>sit-cin</i>	‘sweep in’
	3. <i>hut</i>	‘bore’	<i>hut-cin</i>	‘bore in’
	4. <i>p^huk</i>	‘pull’	<i>p^huk-cin</i>	‘pull in’
	5. <i>hip</i>	‘tie’	<i>hip-cin</i>	‘tie in’
Set II	6. <i>hi</i>	‘bend’	<i>hi-jin</i>	‘bend in’
	7. <i>t^ha</i>	‘send’	<i>t^ha-jin</i>	‘send in’
	8. <i>t^hin</i>	‘perce’	<i>t^hin-jin</i>	‘pierce in’
	9. <i>k^hoy</i>	‘bend’	<i>k^hoy-jin</i>	‘bend in’
Set III	10. <i>pi</i>	‘give’	<i>pi-sin</i>	‘give in’
	11. <i>cət</i>	‘go’	<i>cət-sin</i>	‘go in’
	12. <i>yok</i>	‘rear up’	<i>yok-sin</i>	‘rear up in’
	13. <i>tin</i>	‘gather’	<i>tin-sin</i>	‘gather in’
	14. <i>nəm</i>	‘darken’	<i>nəm-sin</i>	‘darken in’
	15. <i>pay</i>	‘fly’	<i>pay-sin</i>	‘fly in’

注: c, j は [tɕ, dʒ] を表す。

この言語の ‘in’ を表す方向接辞の祖形を内的に再建し、そこからどのような種類の音変化によってここに現れる形が生じたかを説明しなさい。

(5) 以下の言語学用語を簡潔に説明しなさい。

- (a) モーラ (mora) と音節 (syllable)
- (b) 補充法 (suppletion)
- (c) 連語 (collocation) と成句 (idiom)
- (d) 含意的普遍特性 (implicational universals)